

近大生のアイデア反映 学生向け賃貸住宅完成

2022/3/15 15:18 毎日新聞@大学



エレベーターホールに設置されるホワイトボード

1人暮らしの大学生が入居者同士、交流しやすい共用部を設けた学生向け賃貸住宅が、東大阪市内に完成した。共用部の使い方について、近畿大学の学生からアイデアを募り、意見を反映した。コロナ禍でコミュニケーションの希薄化が懸念される中、身近な交流を育む仕掛けが盛り込まれている。

住宅は、近畿大の近くに新築された「キャンパスヴィレッジ大阪近大前」。東急不動産が開発して、学生情報センター（ナジック）が運営する。食事が付いた寮タイプのマンション。全国にシリーズ展開しており、大阪府内では初。

共有部が広く入居学生が交流



1階交流スペースの一部。シェアキッチンと、廃材利用の家具など

が並ぶラウンジ。奥の部屋はシアタールームとプレイルーム

共用部の広さに特徴があり、1階すべてが開放的な交流スペースとなっている。食事がとれるカフェテリアに加え、大型テレビを設置したシアタールーム、ボードゲームを用意したプレイルームなどを設けた。共用部の使い方について、近畿大経営学部の布施匡章教授のゼミ生からもアイデアを募った。ゼミ生は、別の学生向け賃貸住宅の入居者から「新入居のイベントで仲良くなるが、それ以外で進展がない」などの声を聞き取り、解決策を考えた。

ゼミ生の意見を反映し、1階エレベーターホール壁面に、近くの商店街の拡大地図アートを設置したほか、各階のエレベーターホールには、日本地図入りの大きなホワイトボードを掲示。入居者同士の情報交換や自己紹介などに役立ててもらおう狙い。

学生情報センター広報室長の寺田律子さんは「多くの友達を作り、充実した学生生活を送ってほしい」と話している。12階建てで個室は251室。3月末に入居開始予定で、申し込み受け付け中。性別を問わず入居できる。

問い合わせは、ナジック学生情報センター近畿大学前店（0120・086・749）。

【小柳津早霧】